

造船統計速報(平成28年2月分)

平成28年4月18日
総合政策局情報政策本部
情報政策課交通経済統計調査室

本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

1. 概況

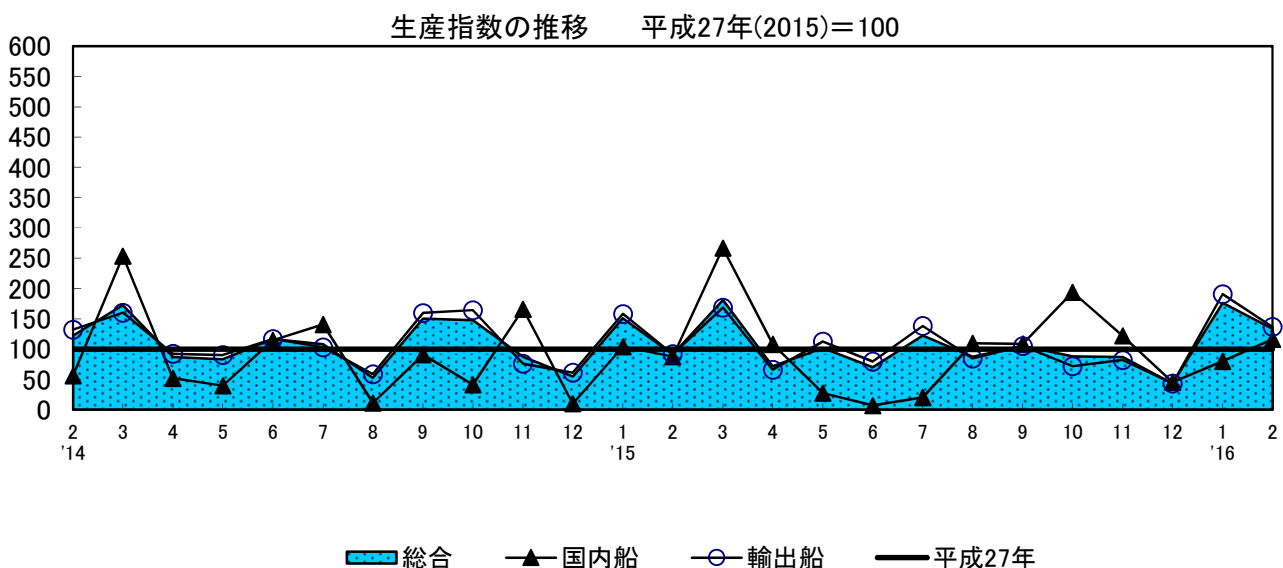
平成28年2月分の造船主要54工場の鋼船受注・建造実績は、受注5隻、102千G/T、起工21隻、88万4千G/T、しゅん工35隻、129万1千G/T、しゅん工船価1,315億円、生産指数(※)133.8であり、生産指数の前年同月比は、46.9%増であった。

このうち、国内船のしゅん工実績は、合計5隻、5万6千G/T、生産指数116.3であった。内訳は、貨物船が2隻、その他船舶が3隻であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、合計30隻、123万4千G/T、生産指数136.4であった。内訳は、貨物船が23隻で、そのうち、一般貨物船2隻(パナマ、香港向け)、ばら積み船7隻(パナマ、マルタ等向け)、コンテナ船2隻(パナマ向け)、自動車専用船1隻(パナマ向け)、鉱石兼ばら積み船9隻(リベリア、バミューダ等向け)、木材兼ばら積み船2隻(リベリア向け)であった。油送船は7隻で、一般油送船3隻(マルタ、バハマ等向け)、LPG船2隻(パナマ、マーシャル諸島向け)、化学薬品船2隻(パナマ、マーシャル諸島向け)であった。

鋼船修繕実績は、105隻、工事金額65億円であった。

2. 生産指数の推移



注1 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。
注2 平成26年1月分調査より「受注」を調査事項として追加し、その結果を公表している。
注3 平成27年の基準値は速報値による。
※ 生産指数は、当該月のしゅん工船価(合計)を、基準時(平成27年)のしゅん工船価(合計)の月平均値で除して求めた指数である。本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

お問い合わせ先：
総合政策局情報政策本部情報政策課交通経済統計調査室
電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1567
03-5253-8348 (直通)
担当：吉田(内線：28-742) 大橋(内線：28-743)

3. 鋼船建造実績

(単位:隻, G/T, 千円、指数:平成27年平均=100)

用途別		受注		起工		しゅん工				
		隻数	G/T	隻数	G/T	隻数	G/T	船価	生産指数	前年同月比
合計		5	102,200	21	883,680	35	1,290,705	131,470,075	133.8	146.9
国内船	小計	2	13,000	2	70,470	5	56,411	15,129,607	116.3	—
	貨物船	2	13,000	0	0	2	51,290	..	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	0	0	2	70,470	0	0	0	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	その他	0	0	0	0	3	5,121	..	—	—
輸出船	小計	3	89,200	19	813,210	30	1,234,294	116,340,468	136.4	—
	貨物船	2	87,800	16	758,400	23	1,077,358	91,706,761	—	—
	油送船	1	1,400	2	54,500	7	156,936	24,633,707	—	—
	その他	0	0	1	310	0	0	0	—	—

※ 結果表中の「..」については、秘密保護上公表しないものである。

※ 受注後にキャンセルが発生した場合は、その隻数及びG/Tについて受注隻数、G/T欄の右横に[]書き(外数)で表示する。

4. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
合計	98	(7)	4,574,130	(1,921,109)
国内船	95	(7)	4,565,898	(1,921,109)
外国船	3	(0)	8,232	(0)

※ ()内は、排水トン表示による船舶で、外数である。